



わたしたちの よげんしゃ と かぞくかんの りんり

そんけい すべき ムスリム の みなさま！

ホトバのぼうとうにろうどくしたのは、ぜんこのしゅがつけられたつぎのしょうくです。「あなたがたのために、あなたがたじしんのなかからそのはんりよをそうぞうし、いこいをえるようにし、あなたがたのあいだにしんあいとじびをあらしめたこともごしるしのひとつ。ほんとうにそのなかには、かえりみるたみへのみしるしがある。」¹ このみことばがしめすように、かぞくとはい、あいとそんけい、おもいやりとじびのせいいきなのです。

しんあいなるしんこうしゃのみなさま！

わたしたちは、よげんしゃ (saw) からかぞくせいかつのりんりのうつくしさとけだかさをまなびました。アッラーのしと (saw) は、かぞくにたいしてつねにやさしくしんせつでした。そのことばもおこないも、すべてがやさしさにみちていました。かぞくのだれかのこころをきずつけたり、きびしいことばをなげかけたりすることはけっしてありませんでした。アッラーのしと (saw) は、こうぜんとつまハディージャへのあいをかたり、こういわれました。「わたしはかのじよのあいによってささえられていたのです。」² さらに「アッラーのおよろこびをもとめてかぞくのためについやしたあらゆるものは、かならずやむくわれるだろう」³ とのハディースをとおして、かぞくのためにささげられたすべてのぎせいを、アッラーのおよろこびをえるためのぜんこうとされたのです。

しんあいなるムスリムのみなさま！

きょう、かぞくというせいどは、グローバルなロビーしゅうだんやりえきしゅうだん、そしてていこくしゅぎてきなせいりよくによって、れきしじょうかつてないこうげきにさらされています。こうしたあしきせいりよくは、かぞくのきずなをよわめ、せだいからアイデンティティとじんかくをうばい、そのかくとなるかちかんからきりはなそうとしています。このようなじょうきょうにおいて、かぞくをきずき、まもり、つよめることは、たんなるこじんのせきにんではありません。しんこうとりょうしん、そしてりせいをもつすべてのひとにとって、しゅうきょうてき、どうとくてき、そしてにんげんてきなぎむなのです。じっさいに、ホトバのぼうとうにろうどくしたハディースのなかで、よげんしゃ (saw) はこうかたっています。「かぞくにたいするせきにんをおこたること——それだけで、ひとにとってじゅうぶんにつみである。」⁴

しんあいなるしんこうしゃのみなさま！

かぞくのかちかんがそこなわれているいま、わたしたちにはかぞくのかちをあらためてにんしきするぎむがあります。かぞくとは、ちじょうのらくえんであり、けんごなとりでであり、そしてさいごのひなんじよなのです。かぞくせいかつにおいて、アッラーがさだめられたハラールとハラームのきょうかいをまもり、よげんしゃ (saw) のもはんてきなじんかくにしたがわねばなりません。ぜんこのなるしゅの、「あなたのかぞくにれいはいをめいじ、あなたじしんもよくたえなさい」⁵ というごめいれいにしたがいが、かぞくのあいだにすうはいのいしきをねづかせることがわたしたちのぎむです。それは、かぞくのきばんとなるけっこんをうながし、わかものにけっこんをしょうれいすることです。それは、かぞくとすごすべききちょうなじかんを、テレビやけいたいでんわのまえでろうひしないことです。それは、かぞくのたいわをかつぱつにたまち、かんじょうてきなひつようをゆうせんすることです。そしてそれは、こどもたちからかぞくのかたかきやあいじょう、そしてかんしんをうばわないことなのです。

こんしゅうのホトバを、アッラーのしと (saw) のいのりをもってむすびます。

「アッラー、ばんぶつのしゅよ！ わたしとかぞくを、このよとらいせにおいて、こころからあなたにけんしんするものくれつにくわえてください。」⁶

¹ Rum, 30/21.

² Muslim, Fadha'il al-Sahaba, 75.

³ Bukhari, Jana'iz, 36; Muslim, Zakat, 48.

⁴ Abu Dawud, Zakat, 45.

⁵ Ta-Ha, 20/132.

⁶ Abu Dawud, Wittr, 25.